

樹脂・ゴム成形 要望に応じた精度とロット、納期で

- 納期相談
- コスト相談
- メイトインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



現場では若手が育ち活躍している

業務内容
複雑なバルブや金属置き換え用の高強度樹脂部品を生産

液漏れしない複雑機構を内部に持つバルブや、金属からの置き換えで使用する高強度樹脂部品などを得意とする成形加工企業。一度の発注で100個程度の小ロットから、1ヵ月20万個の大ロットまで幅広く対応している。樹脂やゴムの量産成形の仕事は多くが海外に流れ、国内に残る仕事は難易度の高い仕事が多い。

茂林浩行社長は「国内でものづくりにつながる企業の問題を解決する」との方針で、過去10年で成形機を全て刷新し、精度と効率化を追求する体制を整えた。ホームページなど自社をPRするツールを持たないが、口コミで受注を拡大している。

強み
材料選定や金型設計含めトータルノウハウを保有

公差が±0.03mmとシビアな成形品に対応できる技術を持つ。また、通常であれば1個1分かかる成形品が、「愛和」であれば40秒でできる製品もあり、効率面でも定評がある。ゴムや樹脂、添加剤などの材料選定や、材料流路を考慮した金型設計など成形以外のトータルノウハウを持ち、顧客の要望に応じた精度とロット、納期を実現する。茂林社長は「段取り替えが早くなればなるほど稼働率が高く、納期も短縮できる」とし、段取り替えを効率化する治具の考案も推進。24時間生産体制を敷き、小ロット・短納期対応に磨きをかけている。

人材育成
若手育成し中堅として活躍 製造・品質管理で

社員の平均年齢が28.9歳。若手が定着して中堅としての活躍が目立ってきた。季節

変動を考慮した金型温度設定などベテラン職人の頭脳にあったノウハウを条件表として残し、技術を伝承。若手へは指導するだけでなく、ミニミーティングを重ねてルールや改善案を自ら作らせることでやる気を引き出している。

同社では、顧客が朝一番に確認できるように夜間生産時の品質検査データをエクセルでまとめて送付しているが、この作業も若手を中心。茂林社長は「生産技能はもちろん、トレーサビリティ（生産履歴管理）など高度化する顧客サービスへの対応で、若手には大きく期待している」という。

今後の展望
トレーサビリティを視野に 測定の自動化を検討

トレーサビリティのニーズを視野に入れ、茂林社長は「測定機分野での投資を進めたい」と将来の構想を語る。現状、24時間に1回、成形機の立ち上がり時に寸法測定し、外觀チェックも1時間に一度実施するのを基本とし、成形品や顧客要望に応じてそれ以上の品質管理を行っている。データ要求は、年々増えつつあるが、人手には限界がある。測定の自動化や機械化を徐々に進め、成形精度や品質、コストだけでなく顧客サービス面でも満足度の高いものづくりを目指す。



農業用ノズル部品1



農業用ノズル部品2

当社の歴史



昭和49年に創業し、精密射出成形と金型設計を合わせた技術力と提案力で、樹脂・ゴム製品の高機能化、高付加価値化に貢献しています。どんな仕事も手を抜かないことが信条。小ロット・大ロット、業種を問わず、さまざまな受注で、顧客との打合せをもとに最適な精度とコストを提案できることが強みです。和を大切に精神で広く社会に愛される企業を目指しています。

代表取締役 茂林 浩行さん

主な事業内容

プラスチック製品、ゴム製品の成形加工とその金型の設計製作

主な取引先(納入先)

農業用ノズルメーカー

- 住所 〒571-0017 門真市 四宮4-5-33
- TEL 072-887-5620
- FAX 072-887-5621
- 創業 昭和49年1月
- 設立 平成2年7月
- 資本金 600万円
- 従業員 15名